

# 令和3年度 第3回

## 埼玉県県央地域保健医療・地域医療構想協議会

### 議 事 録

令和4年3月14日  
書面による会議

新型コロナウイルス感染症に係るまん延防止措置等重点措置の適用下であり、また収束の兆しが見えない状況のため、書面による会議とした。

議事について、事務局から資料の説明を書面により行い、各委員に質問・意見を求めたところ、次のとおりであった。

#### 【 議 題 】

- 議事1 「地域医療構想調整会議」及び「地域保健医療協議会」の要綱・構成委員について
- 議事2 非稼働病床を有する医療機関への対応について
- 議事3 圏域別フェイスシートについて
- 報告1 埼玉県地域保健医療計画の中間見直しについて
- 議事4 埼玉県地域保健医療計画に係る圏域別取組の中間見直しについて
- 報告2 病床機能の転換について

#### 【質問・意見】

##### 議事2 非稼働病床を有する医療機関への対応（案）について（資料2）

###### 委員からの意見

現在、全国的な働き手不足により医師、看護師、その他専門職が随時補充出来ないことにより患者減少・施設や機器の入替補修が困難な医療機関はこれからも増えていくことが予想されています。

今後、金銭的な補助金を出すことがあるなら、金銭だけではなく人材についても補助できる体制づくりが出来ると良いのではないかと考えます。

###### 回 答

非稼働病床の再稼働に関し、医療機関への補助金制度はございませんが、埼玉県では、令和元年度に埼玉県地域保健医療計画の一部として策定した医師確保計画に基づく必要医師数確保の取組として、奨学金等の貸与による医師の養成や、後期研修医の県内医療機関への誘導・定着を図るほか、看護職員の確

保・育成や離職防止を図る施策を行っています。医師については、「医師の働き方改革」による令和6年4月からの時間外労働規制を踏まえた検討も必要です。医療従事者不足等につきましては、いただいた御意見を担当課とも共有し、今後も改善に向けた取組を推進してまいります。

#### 議事4 圏域別取組中間見直し案について（資料5-1）

##### 委員からの意見

県央保健医療圏の高齢化率は19年～29年で9.4%upと、どの町にも高齢者が溢れています。

フレイルの期間を少しでも長く保つため地域ぐるみで同じ政策と目標の共有が大切です。

それには、保健所を中心に地域共生で各家庭・地域コミュニティ・行政（市県）で目標を作り「主な取組及び内容」から各組織に具体的な発信をお願いしたいです。

例えば、民間企業にも上記のお願いをして、高齢者を支えてはどうですか。

##### 回答

圏域別取組については、各実施主体が目標の達成に向け取組を行っております。

来年度以降、地域保健医療協議会において、今回の圏域別取組中間見直しの結果を踏まえた各実施主体の具体的な取組等について協議してまいります。

引き続き御協力を賜りますようお願い申し上げます。

##### 【資料の修正】

議事4 埼玉県地域保健利用計画に係る圏域別取組の中間見直しについて、オミクロン株の流行による第6波の状況を踏まえ、資料5-2「取組名 新型コロナウイルス感染症対策」を別紙のとおり修正した。

以上